



富士見市立東中学校

9月号

こ ち  
東中だより 東風



【学校教育目標】 『夢や希望をはぐくみ、一人一人が輝く学校』

巻頭言

校長 菅野 誠一

### 早秋の月影に

季節の去来を感じる頃です。陽光がぐっと照りつける夏の昼間が、滝のように奔った「動」の時間ならば、月光がそっと照らす秋の夜は、池のように止まった「静」の時間かもしれません。そよそよと揺れるススキが、夏を見送って秋を手招きする手振りのようです。四季の節目ゆえに感受できる、自然の美観や季節の美感に気づかされます。

中でも秋に美しいとされる「月」は、昔の人々にとって、暮らしや心の拠り所でした。『月よみの 光を待ちて かへりませ 山路は栗の いがのおつれば』（良寛） 帰ろうとする客に「月が出てからお帰り下さい。山路は栗の毬（いが）が落ちています。」と…。月明かりを頼りに夜道を歩く人の影法師が地面に伸びるほどの月夜の恵みを偲びます。

『遠く離れて 会いたいときは 月が鏡になればよい』この俗謡に、月が人の心を遠くから静かに慰めていたことを察します。「お月様、鏡になってあの人を夜空に映して。」と念じる光景に、中学生の頃によく流れていた『魔法の鏡』（荒井由実）の歌の情景がよみがえってきます。満月のシルエットに黒いレコード盤が重なるかのごとく…。 “月の鏡”で “あの人” を見つめる瞳は、一等星のような輝きを放っていることでしょう。

さて、ある親が、子に『かぐや姫の物語』を聞かせた後の対話です。「そういえば、どうして、月でうさぎが餅つきをしているの？」（子）「かぐや姫や月の都の人達が食べるためだろうね。」（親）「寂しがっている竹取のお爺さんに食べさせてあげるためかと思った。どうして、うさぎの目は真っ赤なの？」（子）「力いっぱい餅をついているからだろうね。」（親）「竹取のお爺さんがかわいそうで、目が真っ赤なのかと思った。どうして、うさぎの耳は長いの？」（子）「次に満月がやって来る日をよく聞こうとしているからだろうね。」（親）「竹取のお爺さんの悲しい気持ちをよく聞いてあげているからかと思った。」（子）その親は、幼子の美しい心が最も美しく表れる瞬間を、刻みの深い物語観から、すばっと見られたといいます。まるで “竹を割ったよう” に…。

満月から半月、三日月へと “月並み” ならぬ変身で「満つれば欠くる」と、世の常を教え伝えている月を地上から仰いでいると、月を師と仰ぎたくなる今宵（こよい）です。

## 3年生の壮行試合等が行われました

コロナウイルス感染拡大防止の関係で、運動部活動の学校総合体育大会が中止となりましたが、市内の3年生壮行試合等が7月下旬から8月上旬まで行われ、3年生部員は有終の美をかざりました。3年生の皆さん、今後は、自らの夢の実現に向けて、頑張ってください。



※野球部は本郷中との合同チームで参加。

## 9月のおもな行事予定

9月1日(火) 全校二者面談②  
2日(水) 全校二者面談③  
総合集金④  
3年埼玉県実力テスト  
3日(木) 全校二者面談④  
4日(金) 全校二者面談⑤  
5日(土) 土曜授業①(午前中のみ)  
生徒会立会演説会  
11日(金) 体育祭(午前中のみ)

9月14日(月) 教育実習開始(10/2まで)  
15日(火) 体育祭予備日 学校朝会  
18日(金) PTA 合同除草作業  
23日(水) 入間東部新人大会①  
25日(金) 入間東部新人大会②  
26日(土) 入間東部新人大会③  
28日(月) 生徒会専門委員会  
(前期最終)  
29日(火) 生徒朝会  
(本部役員任命式)